

議会だより



彼岸花：異名が多く日本では不吉と受け取られることもあるが、反対に「赤い花、天上の花」とめでたい兆しとされることもある。花言葉は「情熱」「再会」「悲しい思い出」「想うはあなた一人」。(高浜町中寄)

contents

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| ◇トピックス …………… P2～3 | ◇各委員会報告 …………… P12～18 |
| ◇採決一覧表 …………… P4 | ◇監査報告 …………… P19 |
| ◇質疑・討論 …………… P5 | ◇「議員と語ろう会」を開催します
／編集後記… P20 |
| ◇一般質問 …………… P6～11 | |

来年1月スタートの新たな役場機構に 問題はないか？

新庁舎移転に伴う役場機構改革を行うための「高浜町課(室)設置条例」の改正案が議会提案され審議し賛成多数で可決しました。

町長は提案理由の中で、機構改革の主な内容として政策推進室を総合政策課に変更し、現在のまちづくり課業務の一部を総合政策課に移し、まちづくり課は産業振興課に名称変更する。また、少子高齢化の進展に伴い、「健康づくり」や「介護予防」などを連携して総合的に取り組めるように、保健課と福祉課を統合し保健福祉課とするとしています。

議会としては役場の機構改革が真に住民サービスの向上につながるのかとの観点で慎重に審議を行いました。

議員からは、保健課と福祉課の統合により、少子高齢化進展の中で今後もっとも重みを増す分野を担当する課が統合されることになり、一つの課の守備範囲が広がり、住民サービスが手薄になるのではないかと懸念が示されました。また、厳しい農林水産業の現実を踏まえると、農林水産課の復活が必要ではないかと意見提起もありました。

町としては、保健課と福祉課は互いに連携する分野が多いことから、一つの課に統合した方がきめ細かい対応ができるとの考えが示されました。また、農林水産課の復活について、一次産業の振興は六次産業化による取組が欠かせないことから、産業振興課で取り組んでいくことが望ましいとの考えが示されました。

新庁舎入居時期は平成29年1月となるが、役場移転との同時実施による混乱を避けるため、1年前倒して平成28年1月から機構改革を実施することの説明もありました。

文責／小幡憲仁

旧体制



1月1日から、
つぎのように変わります

新体制



あの件
どうなった??

トピックスの「その後」シリーズ
中央体育館エアコン
設置その後

前号の議会だより(第123号)のトピックス記事でお伝えした中央体育館立替工事に伴うエアコンの設置について、その後の経過をお伝えします。

■議論の経緯

6月定例会において、中央体育館改築(建替)に伴い、時代に適応した冷暖房設備の設置も検討するよう理事者側に委ねていた。

■検討結果

7月21日に全員協議会を開催し、議会の求めで理事者が作成したエアコン設置に関する検討資料に基づき、エアコン設置の是非について議員全員で議論した。その結果、議会としてエアコン設置は必要と判断し理事者に伝えた。

この結果、理事者はエアコンの設置を決定し、9月議会でエアコン設置の実施設計予算が計上された。

■今後について

今後は議会としてエアコン設置の実施設計について注視していく。

質問続出!! 「塩屋」の現状!



■ 議論のポイント

9月議会の予算決算常任委員会において、「塩屋」について議員側から次の質問を行ない、それに対して理事者側からの回答を得た。

【議会】 塩屋に勤める職員の給料が、まちづくり課と建設整備課から別々に出ているが、いったい塩屋の所管はどこなのか。

【理事者】 まちづくり課所管の「高浜まちづくり事業」の「いきいきタウン」への委託料から塩屋事業運営実務者の給料が出ている。また、建設整備課所管の「まちなか居住推進事業」の「まちづくりネットワーク」への委託料から塩屋の施設管理者の給料が出ている。

【議会】 塩屋の運営実態がよく分からない。塩屋の位置づけについて、町民の方が納得できる説明資料(ポジションペーパー)がないか。

【理事者】 皆さんにご理解頂けるよう、塩屋の位置づけに対する説明資料を作成する。

【議会】 事業主体が、「いきいきタウン」か、「NPO法人」か、明確でないため事業運営責任の所在が非常に心配である。「塩屋」の運営責任の線引きは、どのようになっているのか。

【理事者】 空き家バンクなどの事業は、現在、「いきいきタウン」、「まちづくりネットワーク」を通じて行なっている。今後、この7月に発足した「NPO法人塩屋」と上記まちづくり団体が連携し、事業展開をさせていく。また、責任の所在、運営内容も明確にしていく。

■ 今後について

「塩屋」のまちなか活性化事業は期待するが、その成否は行政の信用に係る問題である。理事者側に説明資料を提出させ、責任の所在および方向性を確認し、町民の皆さまの疑問に答えていきます。

文責/井上順也

「塩屋」の運営責任は、
どのようになっているのか



ふるさと納税って?



「ふるさと納税」とは、平成20年度から実施されている制度で、個人がふるさと(自分が貢献したいと思う都道府県、市区町村)に対して行う寄付金のことで、個人が2,000円を超える寄付を行ったときに、住民税と所得税から一定の控除を受けることができる制度です!

また、平成27年4月にはその制度の一部が改正され、控除額の拡充や申告手続きの簡素化が行われており、その動きはマスコミ等での報道により注目されています。



■ 我が高浜町では・・・

本年12月より、本格的にこの「ふるさと納税」制度に力を注ぎ、町外の方に「自然豊かな暮らしやすい町 高浜町」をPRしていきたいと考えております。

また、納税された方に対する返礼品としてこのすばらしい高浜町の自然が育んだ特産品(米、海産物等)を現在検討中! 町民の皆様!!! 乞う、ご期待!!

文責/西野朋宏

「ふるさと納税」
本格的に始動!!





9月定例会では 以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第48号	平成27年度高浜町一般会計補正予算(第2号)について	予算決算	賛成多数で可決	P3、5、12
議案第49号	平成27年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	厚生文教	全員賛成で可決	P15
議案第50号	平成27年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)について	厚生文教	全員賛成で可決	P15
議案第51号	平成27年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	厚生文教	全員賛成で可決	P15
議案第52号	平成26年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	総務産業	賛成多数で可決	P5、14
議案第53号	平成27年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第54号	平成27年度高浜町宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第55号	平成27年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第1号)について	総務産業	全員賛成で可決	P14
認定第1号	平成26年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定について	予算決算	賛成多数で認定	P3、5、12、13
認定第2号	平成26年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	厚生文教	賛成多数で認定	P5、15
認定第3号	平成26年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について	厚生文教	全員賛成で認定	P15
認定第4号	平成26年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	厚生文教	全員賛成で認定	P15
認定第5号	平成26年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	厚生文教	全員賛成で認定	P15
認定第6号	平成26年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務産業	全員賛成で認定	P14
認定第7号	平成26年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務産業	賛成多数で認定	P14
認定第8号	平成26年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務産業	全員賛成で認定	P14
認定第9号	平成26年度高浜町公有水面埋立事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務産業	賛成多数で認定	P14
認定第10号	平成26年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務産業	全員賛成で認定	P14
認定第11号	平成26年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務産業	賛成多数で認定	P14
議案第56号	高浜町公共用施設運営基金条例の制定について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第57号	高浜町立中央体育館整備基金条例の制定について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第58号	高浜町公共用施設維持基金条例の一部を改正する条例について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第59号	高浜町電源立地地域対策交付金施設維持基金条例の一部を改正する条例について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第60号	高浜町電源立地地域対策交付金施設整備基金条例の一部を改正する条例について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第61号	高浜町課(室)設置条例の一部を改正する条例について	総務産業	賛成多数で可決	P2、5、14
議案第62号	高浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	総務産業	賛成多数で可決	P5、14
議案第63号	高浜町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総務産業	賛成多数で可決	P5、14
議案第64号	高浜町人材育成交流基金条例の一部を改正する条例について	厚生文教	全員賛成で可決	P15
議案第65号	高浜町スポーツ振興基金条例の一部を改正する条例について	厚生文教	全員賛成で可決	P15
議案第66号	高浜町住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例について	厚生文教	全員賛成で可決	P5、15
議案第67号	高浜町印鑑条例の一部を改正する条例について	厚生文教	全員賛成で可決	P5、15
議案第68号	原子力防災対策施設(内浦公民館)改修工事請負契約について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第69号	青葉山健康長寿の里整備事業建築工事請負契約について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第70号	高浜町中央体育館解体工事請負契約について	厚生文教	全員賛成で可決	P15
議案第71号	字の区域の変更について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第72号	中山間地域総合整備事業実施計画について	総務産業	全員賛成で可決	P14
議案第73号	高浜町道路線の認定について	総務産業	全員賛成で可決	P5、14
同意第3号	教育委員会委員の任命について	—	全員賛成で同意	—
陳情第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	総務産業	全員賛成で可決	P14

●予算案件…8議案 ●決算認定案件…11件 ●条例案件…12件 ●契約案件…3議案 ●その他案件…3議案
●人事案件…1議案 ●陳情…1議案 合計39議案(26議案可決、11議案認定、1議案諮問、1議案採択)

本会議での質疑・討論

質疑 認定第1号

渡邊 孝議員

国庫支出金の電源立地地域対策交付金の交付額が増額した理由は。

総務課長

発電所40年経過による増額。

質疑 議案第61号

小幡憲仁議員

新庁舎での事務がスタートするが、新しく12部署に分かれた課がどのような配置で執務をされるのか。

総務課長

上下水道課は上下水道センター、保健福祉課は保健福祉センター、残りは新庁舎で業務を進める。

質疑 議案第62、63、66、67号

山本富夫議員

マイナンバー移行による、情報セキュリティは万全か。サービスの低下はないか。

住民課長

個人情報保護委員会が、情報の管理を適切に行なう。職員の情報

管理も徹底する。e-Taxは、マイナンバーカードに移行される。

質疑 議案第73号

山本富夫議員

福井国体トライアスロン競技会場となる道路の舗装修繕を県に依頼できないか。

建設整備課長

競技上必要な安全面を確保するため管理者に協力要請する。町道も補修費用を予算計上していく。

討論 議案第48号

反対討論 釣本首次議員

和田公民館の利用者が少ない。保健福祉センターが利用できる。和田公民館建設工事に反対する。

賛成討論 小幡憲仁議員

活発に利用されている。和田地区の公民館として、住民サービスの向上につながるので必要である。

反対討論 渡邊 孝議員

マイナンバー制度は、国にとつ

て利便性があっても、国民にはメリットがない。

賛成討論 上尾徳郎議員

新庁舎公民館の太陽光発電装置設置は、維持管理の問題、庁舎の外観コンセプトにそぐわない。設置には慎重な対応を求める。

討論 議案第52号

反対討論 釣本首次議員

平成26年度決算時で、約86億円の借金がある。雨水調整池のような無駄な事業はストップすべき。

賛成討論 小幡憲仁議員

雨水調整池の補正予算は、工法が変わったことによる予算である。国から地方交付税として一定額交付される。事業は妥当。

賛成討論 栗野明雄議員

政治の原点は治山治水であり、住民の声に応えていくことが必要。

賛成討論 磯部武史議員

高浜駅前の交差点が浸水した。被害対策として有効。

賛成討論 廣瀬とし子議員

南区でも冠水があった。雨水対策は必要である。

討論 認定第1号

反対討論 渡邊 孝議員

新庁舎公民館建設事業には反対。同和事業は、一般対策に移行すべき。

賛成討論 山本富夫議員

原発関係は、当町の地場産業として貢献している。同和問題は、真摯に取り組む問題である。高浜町は、先駆けした取り組みをしている。

討論 認定第2号

反対討論 渡邊 孝議員

平成26年度は保険税の賦課限度額が1万円引き上げられた。負担が大きい。

討論 議案第61号

反対討論 上尾徳郎議員

保健課と福祉課を統合し、保健福祉課とするのは、課題が多く事業に支障をきたすと危惧する。現場を見た対応か疑問である。



空き屋対策はどうする

答弁 空き家情報バンクを活用する

栗野 明雄議員

倍になり、自治体の権限が強化された。所有者は把握している。

いく。

【栗野】
現在町内には多くの空き屋が存在する。また、今後も増えることが予想される。人が住まないことによって、建物の崩壊が生じる。

◆高浜町出身者とのつながりを

【磯部】
農業には、担い手育成事業として青年就農給付金事業など、経営が安定するまでの一定期間、関係機関との連携によるサポートや給付金制度がある。

現在も危険な建物があり、通行人の安全が脅かされている箇所もある。税制上の対策、所有者の確認など、その対策を問う。

◆高浜町出身者とのつながりを

【磯部】
船舶用省エネエンジン導入事業について

【建設整備課長】
調査の結果、約33%が空き屋となっている。まずは、「空き屋情報バンク」を活用し、有効活用したい。

◆高浜町出身者とのつながりを

【磯部】
当初予算で、漁業用船舶用省エネエンジン導入事業補助金510万円が計上された。

倒壊の恐れのある建物の所有者には、改善の助言や指導を行っている。「空き屋対策特別措置法」では、危険な建物

◆高浜町に自然環境医学の誘致を

【磯部】
大変期待されており、多くの申請者があると認識している。具体的に見えてこないが状況はどうか。

には撤去や修繕を勧告できる。その場合は、固定資産税の特例から除外される。実質6

◆高浜町に自然環境医学の誘致を

【磯部】
現在、国の補正予算の情報を探っており、早期の予算化を要望している。補正がない場合は、新たな助成の方法を検討していく必要があると考えている。

【保健課長】
高浜町の現状を考えると、まずは住民の健康増進から始めたい。

◆高浜町に自然環境医学の誘致を

【磯部】
27年度当初予算に計上予定であった当事業が26年度2月補正に前倒し実施となり、27年度については予算化されていない状況である。





災害に強い街づくり

高浜町の地域防災について

答弁 更なる地域防災力の向上に努める

西野 朋宏 議員

【西野】

近年、様々な自然災害が日本列島を襲っている。こういった事態を踏まえ、現在、本町でも有事の際の避難場所が設定されているが、それらがすべて本当に安全であるか？また、新たな避難場所の検討はされているかを伺う。

【防災安全課長】

本町では、一昨年の国の災害対策基本法の見直しから、避難者の生活を確保するための「指定避難所」として27施設を、差し迫った災害の危険から逃れるための「指定緊急避難場所」24施設を指定している。また、新たな避難場所として高浜病院や高浜けいあいの里の施設等を「津波避難ビル」として指定し、市街地での緊急避難場所として早急に確保したく、施設側と協議を行っている。いずれにしても、必要に応じ、避難場所や避難所の追加や見直しを適宜行っていく。

【西野】

防災訓練についてどのように実施されているか？また、町の最高責任者である町長が災害時に不在の場合、どのような対応を考えているか？高齢化が進む町内会において、防災活動への行政支援が必要ではないか伺う。

【防災安全課長】

防災訓練について、官民一体の訓練を毎年実施している。他にも町職員対象の訓練を実施し、防災体制の整備強化を図っている。災害時は、町長、副町長、防災安全課長の順で権限が委任されることになっているが、危機管理の観点から、町長と副町長がともに不在となることのない体制としている。町内会への行政支援については、行政区単位の自主防災組織化の推進や、各区・団体での防災セミナーの実施。また、県の取り組みの一つとして防災士の養成があるが、本町でも積極的に資格の取得に向けて住民に働きかけを行っている。



介護保険制度の

サービス状況について

答弁 地域特性考え政策面で検討する

井ノ元 康夫 議員

【井ノ元】

平成27年度に入り、保険料の基準額が見直されスタートしたが、町内全域のサービス状況について次の事を伺う。

①町内4地区の利用者で、社協、病院などの公的機関と民間事業所では、遠方による移動時間の問題から介護サービスが、公平に受け

られていないのではないかと。②介護サービスを利用中に変更などを希望された場合、スムーズに対応出来ているのか。

③医療保険と違い介護保険はその立場にならないと感心を持たれない事から、内容をご存じない方が多いと思う。どのように広報しているのか。

【福祉課長】

①介護保険サービスを利用される場合、ケアプラン（計画書）を作成し、身体状態などに応じて決められている。必要なサービス提供は、概ね出来ていると認識している。

②意向調査を行い、意見を反映し

た事業計画であると考えている。出来る限り利用者の希望に沿った対応であると考えている。

③「概要版」「パンフレット」「広報たかま」「町ホームページ」で広報しているが、各集落からの要望があれば、出向いて説明する。

【町長】

現実的には遠方である内浦地区には社協の介護部門が、ほぼ網羅し、民間事業者が参入しにくい現状は認識している。今後何らかの手立ては必要であると考えている。また社協には地域福祉全体を考慮の中で、意欲を持って対応して頂いている。今後も立地特性の改善策を検討して行く。

【井ノ元】

町内の事業所が各地域で営業出来るように、介護保険制度ではなく町の政策面での解決を要望する。



嶺南広域連合とは

答弁 市町の事業を広域連携で

可能にする新たな組織を設立予定

山本 富夫 議員

◆嶺南広域連携の方向性について

【山本】

広域行政組合において「将来にわたって持続的に発展することが出来る嶺南地域の実現に向かって」を目標に、嶺南地域における新たな広域連携の検討に入った。組織設立の目的はなにか。

【まちづくり課長】

地域の将来を担う若者の流出や少子高齢化の進展、住民生活の広域化など広域的行政課題が一層多様化し、自治体の運営はますます厳しくなることが懸念され早急な対応が求められる状況にあった。平成26年度には、6市町長で組織する「嶺南地域広域行政推進委員会」を設置し、嶺南地域に相応しい広域連携の仕組みや連携事務について具体的な検討を進めてきた結果、市町の事業を広域連携で可能にする新たな組織を設立したい。

【町長】

今後、嶺南6市町に赴き組織目的について議会に説明を行い、議

会承認ののち、平成29年4月に広域連合の事務処理を開始したいと考えてある。

◆中央体育館改築冷暖房実施設計追加補正について

【山本】

6月定例議会で示された中央体育館改築実施設計に冷暖房設備が削除された件で、議会も多くの議論を交わし、町民の意見等を聴取して冷暖房を設置する方向の結論が出たが、施設使用に関し新たな考えを問う。

【教育委員会事務局長】

工事概算費用の3億円前後で設置したい考えである。利用料金は町民利用を図る上で検討して行く。防災面では、災害の危険が迫った場合は、誰でもが避難できる町内最大の指定緊急避難場所として大変重要な施設にする考えである。



高浜配水池までの道路整備について

答弁 崩壊や舗装面のひび割れは、

維持管理事業として対応

廣瀬 とし子 議員

【廣瀬】

高浜配水池までの、沿道には、桜の木が植えられているが、樹木の伸び放題や道路のひび割れが何ヶ所も見受けられる。管理はどうなっているか。大雨が降れば住宅側へ水が流れる。早急に道路整備・砂防対策を行う考えはないか問う。

【建設整備課長】

本道路は、佐伎治神社前から上水道高浜配水池までの、752m、幅員6mの「町道妙見山線」として維持管理を行っている。沿道には、桜並木を形成している。春先には街からの眺めや、散策道として町民の方からも親しまれている。樹木の剪定は、雑木は、住居側への倒木の恐れのある区間は除去を行った。桜の剪定については、配水池の日常管理において、車両通行に支障のある枝について対応している。付近の下刈は、例年シルバー人材センターへ委託するなど、適性管理に努めている。また砂防

対策として、豪雨時に佐伎治神社横から住宅側へ土砂などが流出する事業については昨年度に調査検討業務をおこなった。28年度に上流堰堤内の土砂を除去することで、流下する土砂量の抑制を図る計画を進めている。安心して生活できる環境を維持する。

◆AED設置について

【廣瀬】

町内のAED設置場所は36ヶ所ある。公共施設は夜間・休日は閉鎖されている。問題が発生した場合、AEDを24時間利用できる場所の設置が必要である。設置の考えはないか問う。

【防災安全課長】

若狭管内の各市町が調整を図り、その結果、すべてのコンビニエンスストア23店舗、そのうち高浜町内では6店舗においてAEDの設置が決定し、配備が完了する。



高浜町における共同墓地について

答弁 どの程度の予算化が必要か、今後つめていく

井上 順也 議員

【井上】 墓地の取得を希望して問い合わせしても、明確な対応がなされていない。共同墓地の拡充および管理の明確化に対する所見は。

【町長】 墓地の新設について、立地の場所をどこに求めるか検討する。どの程度の予算化が必要か、今後早急につめていきたい。

【住民課長】 安心して高浜町でくらしていただけよう、共同墓地のあり方については課題であると考え。新たな共同霊園の検討を進め、誰もが利用しやすい施設にしていく。

◆鳥獣害電気柵の安全対策について
【井上】 本年7月に静岡県で、電気柵による死亡事故があった。同様な事故がおきないように安全対策の実施が必要であるが所見を伺う。

【まちづくり課長】 当町の電気柵設置状況は全286件、漏電遮断器の無いもの

40件、危険表示のないもの98件と判明。不備のあった設備については、年度内に全ての不備の是正をすべく改善指導を行なう。

【町長】 危険のリスクを認知していくことの啓発が大事である。

◆子育てしやすい環境の充実について
【井上】 妊娠から子育て期までの切れ目のない子育て支援を、ワンストップで行なう拠点の取組み状況は。

【保健課長】 母子保健と子育て支援、要保護児童対応、保育所の運営を行なっており、関係個所と連携し切れ目のない支援を行なっている。宿泊型の産後ケア事業等についても検討していく。産科、小児科については中長期的に取り組んでいく。

【町長】 人口減少対策の20代、30代の子育て支援の戦略、施策は充実させていく。



安全保障関連法案について

渡邊 孝 議員

【渡邊】

現在、国会で審議中の安全保障関連法案(戦争法案)は現行の平和憲法を意図的に曲解して、ふたたび日本を「戦争する国」にしようとするものである。いま全国津々浦々で青年、学生をはじめ各階層の人々が反対運動を繰り広げている。この安倍政権による安保法制について町長の見解を問う。

【町長】

日本を取り巻く周辺環境は大きく変化している。世界の警察官と言われた米国の存在感や国力に陰りが現れ、日本が世界の中で一定の役割・責務を求められる時代に入った。憲法や現行の法律に照らしてどうか?というより日本の防衛が今後どうあるべきかを議論すべきであると思う。



◆原子力防災計画について
【渡邊】

「町原子力災害住民避難計画」では、重大事故発生時には兵庫県内3市町に避難することになっている。その詳細計画については「国・県・関係機関と協議する」ということであったが、現在どうなっているのか。

【町長】

広域的な原子力防災を検討する国の「地域原子力防災協議会の作業部会」の中で、バスなどの輸送能力の確保、自衛隊・海上保安庁などの支援体制、またスクリーニング・除染場所などの課題については、福井県及び関係機関との間で協議が行われ、概ね検討を終えている。最終調整がまとも次第、国の「地域原子力防災協議会」が開催され、その内容が公表される予定である。



鳥獣害対策の恒久柵の設置の意思は

答弁 設置する方向で検討する

見玉 千明 議員

【見玉】

鳥獣害対策特別委員会が設置されてから6年が経った。しかし未だ被害は解決せず、被害は広まるばかり。本当に高浜町は恒久柵を設置する意思はあるのか、また捕獲用檻の貸し出し状況、数について、公平性はあるのか、補助への考え、ハンター育成について、今後の方針を問う。

【まちづくり課長】

鳥獣害対策について「追い払い・防御・捕獲」を3つの柱として取り組んでいる。恒久柵の設置は防御の大きな柱であり、設置する方向で検討する。捕獲用檻は数が足りていないので、新たな檻の購入貸し出し補助を検討する。ハンターの育成について、広報などを猟友会、捕獲隊と協議して検討する。

◆水難事故について

【見玉】

今年水難死亡事故が多発した。海のルールブックや条例は浸透し

ているのか、徹底しているのか、

ライフジャケットの着用など、禁止事項を増やしたり、条例の改正の考えはあるか、貸し出しを行う考えはないか、今後の方針について問う。

【まちづくり課長】

徹底はできていないが、徐々に浴客に浸透している。今後も継続して取り組んでいく。ライフジャケットについても観光協会や海浜組合等関係者と検討していく。

◆若宮海水浴場の海岸浸食について

【見玉】

海岸から土砂が減少し、塩害被害や危険などの声が多い。今後の方針について問う。また丁寧な対応をしていただきたい。

【まちづくり課長】

県管理の区域であるため、抜本的な対策は困難だが、当町において主力産業である観光事業にあたるため、県に強く要望していく方針。



財政上で町民の皆様が抱かれる疑念について

答弁 持続可能な財政運営を実施

釣本 音次 議員

【釣本】

財政の健全性を可視化する為に実質公債費比率、経常収支比率を検証し、悪い例として汐入1、2号雨水調整池をあげ無駄な工事による負債の影響を質す。

【総務課長】

実質公債費比率は、9.5%で25%以下なので問題なし。経常収支比率は、94.9%で数値は悪いが原発立地自治体特有の電源交付金が硬直化を緩和している。将来世代に重い負担を残さないよう留意する。

【上下水道課長】

概ね7年に1度の大雨を想定。

【釣本】

平成26年度で借金が約85・7億円。これでは財政が健全とは思えない。経常収支比率について国が望ましい数値として市町村では75%としている。町民の皆様にとれぐらい悪いのかを理解してもらう為に100点満点で何点が計算すると35点で、同じ原発のあるおおい

町では、60点ある。雨水対策事業が町長にとって汚点となることを危惧する。

【町長】

独断で決めていない。各区の要望に依る。

◆有線放送の活用について

【釣本】

有線放送の活用について、最初に田んぼに鉄筋が差し込まれそれを知らずに稲穂と一緒に刈り込み機械を破損された。警察の方々と相談しパトロールを強化、不審者を見かけたら警察に通報する旨町に依頼したが断られた。何故か？次に空きチャンネルに放送大学を流してはどうか？

【防災安全課長】

最初の件は、警察と連携して善処する。次の件は、問題が多い。



保育施設での事故防止の 取組強化を求める

答弁 国の指針をもとに安全対策を強化したい

小幡 憲仁 議員

【小幡】

全国で保育施設の事故が相次ぎ、政府は事故防止方策を作成公表した。高浜町としてこの施策に基づく安全対策向上の取組を求める。

【保健課長】

平成26年度に負傷事故が1件発生した。政府の事故防止方策を注視する。重度の食物アレルギー対応や、ヒヤリハット事例の活用でリスク低減に取組んでいる。

◆町債の繰上げ償還について

【小幡】

町債で繰上げ償還可能なものを基金活用で一括返済し金利負担を軽減してはどうか。また、基金の運用益向上の取組も必要。

【総務課長】

大型事業の財源として基金の繰替運用が必要で一括返済は難しい。基金の運用益向上に取組む。

◆上水道料金体系について

【小幡】

町の水道料金について使用水量が少ない部分に割安単価を適用する料金設定にできないか。使用量が少ない高齢世帯などにメリットがあり水道水節約にもなる。

【上下水道課長】

今のところ水道の需要、供給が安定しており、通増料金制度を採用する考えはない。

◆安土山展望台の整備について

【小幡】

安土山展望台の抜本的な再整備を提案する。この展望台は若狭湾を代表する眺望が得られる場所であり、小手先の修繕ではなく抜本的な整備が必要。

【まちづくり課長】

環境省の交付金を活用した整備を検討。安土山の価値は認識しており、平成30年の福井国体に向け、財源確保と整備内容を検討したい。



条例改正・機構改革のねらいは

答弁 業務の量から質への変換をめざす

上尾 徳郎 議員

【上尾】

今回の行政機構再編の概要は。

【副町長】

「まちづくり課」を廃止して膨れ上がった業務を整理する。
「産業振興課」農林水産業・商工業等各種産業を所管。支援機能を強化し、産業界の連携を図り6次化を目指した産業構造の構築。

「総合政策課」各種施策と地域振興の連携を緊密に政策運営機能の強化を図る。町長の官房機能の充実と地域創生を強力に推進のため組織横軸のハブ機能の強化。
保健福祉センターの「保健課」「福祉課」の業務を統合し「健康福祉課」として、健康づくり・地域医療・福祉業務の連携の強化。健康のまちづくり・地域包括ケアシステム推進の司令塔として、少子高齢化社会に向けた組織体制。

【上尾】

保健課・福祉課共に制度上また政策的にも重要課題も多く業務内

容も専門性が求められる。統合により業務・職員数共に多くなるが管理体制は。社会福祉協議会(社協)和田事務所(地域福祉部門)の移転計画を含め、新庁舎移転後本庁への事務事業集約の検討は。

【副町長】

事務量にあった職員数の配置と課長が政策的検討に専念し、負担軽減のため課長補佐を適切に配置して一部の課長権限を委譲し、責任感の醸成による人材育成を図る。
新庁舎完成後、機構改革の状況を検証し事務の集約を検討する。

【町長】

社協の移転は新庁舎周辺での検討がされている。福祉事業などの専門分野を社協などへ業務委託も検討し行政の負担軽減を図る方針。

◆その他の質問

・「塩屋」まちなか居住の推進にむけての活用方針は。
・「健康まちづくり」健康と地域まちづくりの活動について。

予算決算常任委員会

委員長 栗野 明雄

◇9月7日(月)

9日(水)午前9時より

●議案第48号

■平成27年度高浜町一般会計補正予算(第2号)について

歳入歳出は9億2163万円を追加し、予算総額を124億426万3千円とするものである。

【審議の概要】

◆総務費

新庁舎公民館に太陽光発電を設置することについて。

パネルに積もった雪が滑り落ちることでの安全対策、発電量、電気の使用目的、メンテナンスなどの確認をした。蓄電された電気は街灯に使用される。

太陽光発電のパネルを付けることでの景観の変化をただし



新庁舎の太陽光発電装置(予定図)

ふるさと納税推進事業では、三千万円の寄付を目標にしている。返礼品は半返しとする。

納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」を活用することから丸投げに、ならないようにすること。

ふるさと納税の返礼品としての特産品を、議会に提案するまでに募集をしている事は、行政のフライングである。改善するように申し入れた。

福井ふるさと茶屋整備事業では内容の確認があり、高野区の古民家を活用し、交流人口の増大を図るため、カフェ・イベント・ゲストハウスなどを行っていくとの答弁があった。



古民家(ふるさと茶屋)

マイナンバー制度の導入について、住基カードの利用者の利便性を損なわないか。

更新時までにはこれまで通り使えるとの答弁であった。

◆商工費

観光振興事業

和田海浜公衆トイレのバリアフリー改修工事では、バリアフリーの他に、ブルーフラッグに必要と言うことで、ハンドドライヤーや石けんも設置されるとのことである。



和田海浜公衆トイレ

●認定第1号

■平成26年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定について

歳入総額は99億4446万8386円で対前年度比8.2%の増額、歳出総額は98億7887万2196円で対前年度比10.3%の増額。実質公債比率は9.5%。経常収支比率は94.9%である。現状は問題のない数字が示されている。

今年から決算書類の様式を変更したため、詳細の説明についての質問が多く、説明時間を多くとられたため政策的議論をするためには、今後の改善が必要であると感じた。

◆商工費

大阪行き路線バスの件で、駅前を改修したこともあり、高浜駅に止まるようにならないか。



駅前広場

時間短縮の必要性がある、バス事故から運転手の拘束時間などの環境が変わってきているなどのことから現在交渉中であるとの答弁があった。

◆総務費

志賀町との交流事業では、交流のあり方の確認があり、文化歴史の交流であるが、産業的なものへの発展を期待しているとの答弁があった。

バイオマス発電では発電の他に、ゆっぶるでの温熱利用も考えている。温排水のこととかチップ製造の騒音、採算性など実行するときには、和田地区への説明が必要であるとの認識が示された。採算性への疑問は強く出された。発電方法は、木質チップをガス化しエンジンを回すため、煙は発生しない。また、町民のためになるのか。里

花のまちづくり事業では福井国体へ向けての期待が示された。



花のまちづくり事業

マイナンバー制度の導入では、住基カードをお持ちの方への配慮、詐欺などの被害防止、個人情報管理の徹底など多くの要望が出された。

山への影響はどうか、獣害はどうなるのかなど、ストーリーをしっかりと描くべきとの意見が出された。



児童虐待防止事業では、児童相談所が敦賀にしかないことから、対応への疑問が出され、せめて小浜に相談所を置くように要望が出された。

申請時点で支給している、尿取りパットも含めてるので、各自にあった購入をして頂きたいとの答弁があった。

◆民生費
介護の時に支給される紙おむつについて、無駄が多い。

◆民生費

申請時点で支給している、尿取りパットも含めてるので、各自にあった購入をして頂きたいとの答弁があった。



塩屋

など、多くの疑問が出された。理解を進めるために、ポジションペーパーを出して頂くことになった。塩屋の問題では多くの批判的な意見が出たこと、目的方向などがわからな

塩屋については、その目的は何か。たずさわっている人の給与はどこから出ているのか、所属は何処なのか、NPO法人が設立されたが、役場の要請なのか、当事者の主導なのか。行政の取り組み姿勢の一貫性に欠けるのではないか。

◆農林水産業費
漁協の移転問題では、今後の漁業者の人数、水揚げなどを考えるとき大きな疑問がある。漁業者も本場に賛成しているのか疑問である。漁網の整理ができていない景観に配慮することが必要である。事務局体制の不備など厳しい意見が出た。

◆農林水産業費

◆農林水産業費
漁協の移転問題では、今後の漁業者の人数、水揚げなどを考えるとき大きな疑問がある。漁業者も本場に賛成しているのか疑問である。漁網の整理ができていない景観に配慮することが必要である。事務局体制の不備など厳しい意見が出た。

◆農林水産業費
漁協の移転問題では、今後の漁業者の人数、水揚げなどを考えるとき大きな疑問がある。漁業者も本場に賛成しているのか疑問である。漁網の整理ができていない景観に配慮することが必要である。事務局体制の不備など厳しい意見が出た。

◆農林水産業費
漁協の移転問題では、今後の漁業者の人数、水揚げなどを考えるとき大きな疑問がある。漁業者も本場に賛成しているのか疑問である。漁網の整理ができていない景観に配慮することが必要である。事務局体制の不備など厳しい意見が出た。

◆農林水産業費
漁協の移転問題では、今後の漁業者の人数、水揚げなどを考えるとき大きな疑問がある。漁業者も本場に賛成しているのか疑問である。漁網の整理ができていない景観に配慮することが必要である。事務局体制の不備など厳しい意見が出た。

◆農林水産業費
漁協の移転問題では、今後の漁業者の人数、水揚げなどを考えるとき大きな疑問がある。漁業者も本場に賛成しているのか疑問である。漁網の整理ができていない景観に配慮することが必要である。事務局体制の不備など厳しい意見が出た。



海浜清掃機械

◆商工費
漁火想について、今年は夏が終わってから開催されたが、その趣旨は、海水浴観光から通年観光につなげたい、そして交流人口を増やしたい旨の答弁があった。

◆商工費

◆商工費
漁火想について、今年は夏が終わってから開催されたが、その趣旨は、海水浴観光から通年観光につなげたい、そして交流人口を増やしたい旨の答弁があった。

◆商工費
漁火想について、今年は夏が終わってから開催されたが、その趣旨は、海水浴観光から通年観光につなげたい、そして交流人口を増やしたい旨の答弁があった。

◆商工費
漁火想について、今年は夏が終わってから開催されたが、その趣旨は、海水浴観光から通年観光につなげたい、そして交流人口を増やしたい旨の答弁があった。



漁火想

◆消防費
火事があったが消防団の装備の不備はないか。消防団には火の中に入っていくことは求めている。まず身の安全をはかつてほしいとの答弁があった。議員からは、マスク・防護服など消防団の装備の充実を求める声が上がった。

◆消防費

◆消防費
火事があったが消防団の装備の不備はないか。消防団には火の中に入っていくことは求めている。まず身の安全をはかつてほしいとの答弁があった。議員からは、マスク・防護服など消防団の装備の充実を求める声が上がった。

◆教育費

◆教育費
汐入川の浄化対策ではその効果の確認が行われ、水質の向上がみられ、また、環境教育として、教育委員会と共に、小学5年生に対して学習会を行った。

総務産業常任委員会

委員長 山本 富夫

◇9月10日(木)午前9時より

●陳情第5号

■地方財政の充実・強化を求める
意見書採択について

【全員賛成で採択】

●議案第52号

■平成27年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

討論として将来、原発が廃炉となり交付金もなくなり維持管理費が確保できないと反対討論があった。

【賛成多数で可決】

●議案第53号

■平成27年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

●議案第54号

■平成27年度高浜町宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)について

●議案第55号

■平成27年度高浜町高浜町水道事業特別会計補正予算(第1号)に

ついて

以上、【全員賛成で可決】

●認定第6号

■平成26年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

【全員賛成で認定】

●認定第7号

■平成26年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

【賛成多数で認定】

●認定第8号

■平成26年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

●認定第9号

■平成26年度高浜町高浜町公有水面埋立事業特別会計歳入歳出決算認定について

●認定第10号

■平成26年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について

●認定第11号

■平成26年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

●議案第59号

■高浜町公共用施設運営基金条例の制定について

●議案第57号

■高浜町中央体育館基金条例の制定について

●議案第58号

■高浜町公共用施設維持基金条例の一部を改正する条例について

●議案第56号

■高浜町電源立地対策交付金施設維持基金条例の一部を改正する条例について

●議案第60号

■高浜町電源立地対策交付金施設維持基金条例の一部を改正する条例について

●議案第61号

■高浜町課(室)設置条例の一部を改正する条例について

●議案第62号

■高浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

●議案第63号

■高浜町個人情報保護条例の一部を改正する条例について

●議案第68号

■原子力防災対策施設(内浦公民館)改修工事請負契約について

●議案第69号

■青葉山健康長寿の里整備工事請負契約について

以上、【全員賛成で可決】

●議案第71号

■字の区域の変更について

●議案第72号

■中山間地域総合整備事業計画について

●議案第73号

■高浜町道路線の認定について

●発委第5号

■地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

【全員賛成で可決】

総務産業常任委員会

視察報告

●「次世代施設園芸事業」

株式会社 福井和郷



ミディマト
12月
出荷予定!



厚生文教常任委員会

委員長 廣瀬とし子

◇9月11日(金)午前9時より

●議案第49号

■平成27年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

【全員賛成で可決】

●議案第50号

■平成27年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)について

人事異動に伴う人件費の増額及び医療用の備品を購入する必要があるため、増額補正をおこなった。備品購入については、高圧蒸気滅菌器・一酸化濃度測定器である。

【全員賛成で可決】

●議案第51号

■平成27年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

地域密着型介護予防サービス給付費の一部に不足が生じ、保険給付費内において必要額を調整する。

平成26年度分の介護給付費や地域

支援事業にかかる国庫負担金等が確定するため、国・県等への返環金の補正である。

【全員賛成で可決】

●認定第2号

■平成26年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

国民健康保険基金の取り崩し等により、歳入11億4662万9849円、歳出11億4644万449円。前年度に比べて増加した主なものとしては、保険給付費、後期高齢者支援金等である。反対討論として国民健康保険料の引き上げは反対である。

【賛成多数で認定】

●認定第3号

■平成26年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について

【全員賛成で認定】

●認定第4号

■平成26年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

【全員賛成で認定】

●認定第5号

■平成26年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

介護支援の申請サービスの利用や住宅改修工事の利用ができる。

この期間はサービスがとまっていな
いか。サービスのところにはない
か。住宅改修工事は介護認定を待っ
て工事をするのか。

さかのぼり受けられる。

【全員賛成で認定】

●議案第64号

■高浜町人材育成交流基金条例の一部を改正する条例について

改正の意味は、2本の基金があるが運用はどこの基金か。

果実運用で利息のみを使っていたが、必要な時にとりくずす。出納室が管理する。

【全員賛成で可決】

●議案第65号

■高浜町スポーツ振興基金条例の一部を改正する条例について

【全員賛成で可決】

●議案第66号

■高浜町住民基本台帳カードの利
用に関する条例の一部を改正す
る条例について

マイナンバー制度の実施に伴い、住民票や印鑑証明等の自動交付機による交付を取りやめるにあたり、関係する条文を削除する。

【全員賛成で可決】



●議案第67号

■高浜町印鑑条例の一部を改正する条例について

【全員賛成で可決】

●議案第70号

■高浜町中央体育館解体工事請負契約について

解体工事に伴う騒音やほこり対策は万全か。また、土砂やコンクリートのトラック運搬に伴う、児童の通学等安全な通行は確保されているのか。

近隣の皆さまへの説明を実施し、騒音対策、ほこり対策を実施する。交通面の安全には、十分注意を行なう。

【全員賛成で可決】

原子力対策特別委員会

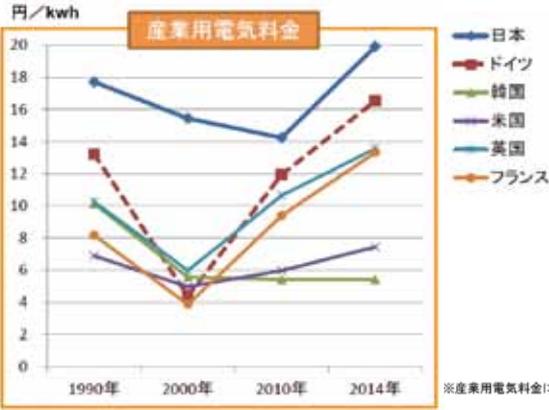
委員長 栗野 明雄

◇9月15日(金)午前9時より

国のエネルギー政策について

資源エネルギー庁より佐々木広報室長ら3名により、国のエネルギー政策について説明を受けた。電気料金の上昇については、家庭向けは25%、産業用は40%の上昇であり、中小零細企業は経営が厳しくなっている。国際的には、各国と比較して高く、上昇傾向にある。従って、国際競争力も落ちている。再生エネルギーを導入した

産業用電気料金の国際比較



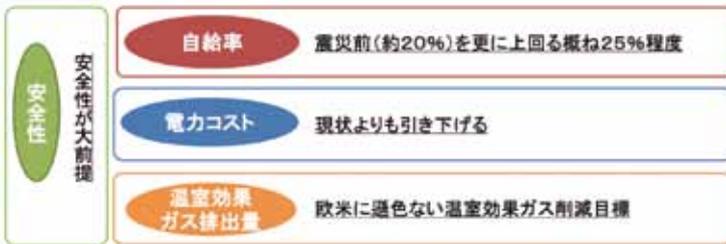
ドイツも高くなっている。電気代の高騰は産業・家庭の会計を圧迫している。

原発停止による燃料負担は約3.4兆円。企業の雇用・収益・株価に影響している。これは国内には益が無く富が海外へ流出している。

日本のエネルギーの供給構造・電源構成・自給率の説明を受け、その結果発生する温室効果ガスが過去最大になっている。震災以降は増加が続いている。

基本方針は、安全性・安定供給性・経済効率性・環境適合性を同時に達成し省エネなど効率化を進め可能な限り、原発依存度を下げる。

3E+Sに関する政策目標



再生可能エネルギーの最大限の導入の説明では、各電源の個性に合わせた導入が必要とすること、各電源の特徴の説明を受けた。

自然条件によらず安定的な運用が可能なものは、地熱・水力・バイオマスである。これは原子力に置き換える。太陽光・風力は自然条件によって出力が大きく変動するため、これは調整運転として火力を使うため、火力に置き換える。

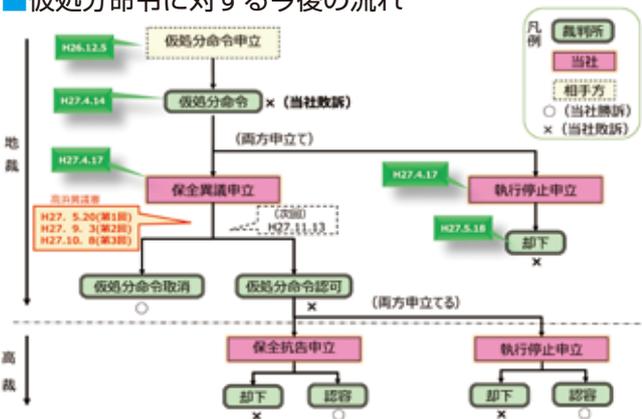
石油火力は、燃料価格や中東依存度が高いが、出力調整が容易である。石炭火力はベースロード電源で効率化により発電電力量を増やせるため、その分は原発の代替になる。

高レベル廃棄物の最終処分については、地層処分を前提に可逆性・改修可能性を担保する。国が科学的有望地を提示する。これは、公募方式では受け入れを表明する自治体の責任と負担が重いということ。そのため国が全面に立った取り組みを行う方針である。このことは、今年5月に閣議決定されている。再稼働については、2月の施政方針演説で、規制基準に適合した原発は、再稼働を進めると表明している。

高浜発電所の現状について

高浜発電所3・4号機の審査状況の説明を受けた後、運転差し止めの裁判所からの仮処分の審査状況の説明を受けた。関電の主張は、高度の科学技術を利用している発電所の安全性が争点であるので、科学的技術的な知見を踏まえ客観的に判断することが必要。この判決は新規規制基準適合性審査をあまりに軽視したものである。現決定には重大な誤認があり、司法判断として誤った点が数多く存在している。

仮処分命令に対する今後の流れ



人口減少問題対策調査 特別委員会

委員長 山本 富夫

◇9月14日(月)午前9時より

【調査内容】

高浜町人口ビジョン／まち・ひと・しごと創生総合戦略

【骨子案】

■第1章 人口ビジョン

①人口推移と将来推計

- ・平成22年における高浜町の人口は、1万1062人であり平成2年以降は減少傾向にある。
- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計人口では、平成52年に7787人まで減少すると予測されている。

②年齢別の人口推移

- ・年齢3区分別の人口は、「年少人口」0歳～14歳、「生産年齢人口」15～64歳は減少傾向で、「老年人口」65歳以上は増加傾向であり、平成52年には町全体の約39%を占め、老年人口1人を生産年齢人口の約1.3人で支えることになる。

③人口の移動・変化率

- ・高校卒業後の進学・就職による

町外への転出、20代前半(専門学校・大学卒業後)の就職による転入が考えられる。特に、女性が

男性に比べ、10代後半での減少率が大きく、20代での増加率が小さい傾向がみられる。(高浜町に帰郷する女性が男性に比べて少なくなっている)

④就業者数・事業社数の推移

・平成24年の就業者数は4984人、事業社数は569社。

⑤通勤・通学者数(流入・流出人口)

・高浜町への流入人口(他の市町村から高浜町への通勤・通学者)は1988人であり、流出人口(高浜町から他の市町村への通勤・通学者)は2254人である。

・高浜町における婚姻数・出生数は、平成20～24年で婚姻件数が234、出生数が482と成っており、婚姻件数・出生数共に減少傾向である。

【人口の将来展望・目標値の設定】

平成52年(2040年)において8300人の定住人口を確保。

※一部内容を記載

鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

◇9月14日(月)午後1時30分より

当委員会では、今年度計画されている被害対策業務の進捗状況について確認を行った。

その業務は大きく3点に分かれており、調査業務、実施業務、そして今年度より新たに従事者育成業務を開始する。

従来の各集落単位での活動に加え専門員を育て、各集落の現状を把握し、対策に有効な手段を指導出来る人材を育成し、被害防止がどの対策を行えば有効であるかを検証し、集落マップで住民の方にわかりやすく、効果的な手段で実施業務を行う。また体制強化のため行政、集落、捕獲隊と連携する事が最も重要であり、今後の対策全体工程が説明された。

委員からは、調査業務を受ける業者はあるのか。恒久柵設置の問題で既に設置済みの市町の状況はどうか。サルの特レメトリーの活用方法について等の質問があり、答弁では、調査業務は専門業者に委託する準備を行っている。

近隣市町の恒久柵の状況では、長所・短所が報告されているが、町内で協議会を設置して幅広い意見を伺いながら検討して行きたい。

テレメトリーの活用方法では、従来行動範囲を調査する物であるが、その範囲を予測して、先回りし追い払い、捕獲に活用して行きたい等の回答であった。

その後、平成26年度に高野区で試験的に設置した遠隔操作サル専用捕獲檻と前年比を確認し、効果が上がっている事を確認した。

地元の方に一年間の経過とサルの習性について報告を頂き、対策に対する日々の熱心さを感じた。



サル専用遠隔操作捕獲檻

若狭消防組合議会

委員 井ノ元康夫

◇7月9日(木)

■第170回

若狭消防組合議会臨時会

4月の統一地方選挙により、議長、副議長が不在であることから選挙が行われ、議長に小浜市議会の清水正信議員、副議長に高浜町議会の井ノ元康夫議員が選任された。

その後若狭消防組合 松崎晃治管理者から、議案第1号「若狭消防組合監査員の選任につき同意を



高浜消防団夏季訓練

求めることについて」が上程され、全員賛成で、おおい町議会の辻徹議員が選任された。

◇7月12日(日)

高浜消防団は、妙見山付近で夏季訓練を行った。過酷な現場で、気温も上昇して行く中、各分団員の方は日頃の訓練成果を発揮されていた。



お詫び

前号、第123号の13ページ、廣瀬議員の若狭消防組合議会●議案第1号
 ■平成27年度若狭消防組一般会計予算、歳入歳出予算総額で「1億4887万5千円」とありますが「14億887万5千円」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

嶺南広域行政組合議会

議員 山本 富夫

◇7月30日(木)午前10時より

場所/敦賀市立図書館

■第2回嶺南広域行政組合議会

臨時会

4月に施行された市町村議会議員選挙により新たに選出された議員議員のもとで開会された。

- ・議長選挙 北条 正(敦賀市)
- ・副議長選挙 山本富夫(高浜町)

右選出

●議案第4号

■嶺南広域行政組合職員の勤務時間、休憩、休暇等に関する条例の一部改正について

【全員賛成で可決】

●議案第5号

■嶺南広域行政組合職員の専任する義務の特例に関する条例の一部改正について

【全員賛成で可決】

●議案第6号

■嶺南広域行政組合特別職の報酬及び費用弁済等に関する条例の一部改正について

【全員賛成で可決】

●議案第5号

■嶺南広域行政組合職員の旅費及

び費用弁償に関する条例の一部改正について

【全員賛成で可決】

■その他説明事項

議題「将来にわたって持続的に発展することができる嶺南地域の実現に向かって」

1 嶺南地域における新たな広域連携の検討。

- (1) 検討に至る経緯。
- (2) 自治体を取りまく現状。
- (3) 広域的な行政課題。

(4) 広域連携課題に対応する枠組みの比較検討。

(5) 広域連合に対する期待。

- 2 広域連合で目指す嶺南地域像
- 3 広域連合の設立に向けて
- 4 広域連携事務

- (1) ごみ処理の広域化
- (2) 広域観光の振興
- (3) 消防指令業務の共同運用
- (4) 介護認定審査事務の共同処理
- (5) その他主な広域連携事務
- (6) 組合が処理する事務移管

5 広域連携の設立スケジュール

以上の項目の内容を確認した。

■一般会計決算概要

決算規模は前年度から拡大した。主な要因は「電源地域の安心と活力のまちづくり交付金」の増加と「次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金」の新規交付による。目的基金の整理に伴い一旦基金を会計に計上したことで増加した。

町税は人口減少に伴う減少分を原子力発電所の安全対策の投資に伴う固定資産税増加分がカバーして前年

度から増加した。一方、町税増収で地方交付税、臨時財政対策債は減少した。一般会計全体の税金・使用料等の累積滞納額は4億2,602万3,774円である。ここ数年改善していた徴収率が悪化に転じた。改善努力を期待したい。

歳出面では新庁舎公民館建設、文化会館・中央図書館改修、次世代施設園芸導入事業などで拡大した。

■特別会計決算概要

歳入、歳出とも約10%の増加。国民健康保険では診療件数増で給付費が増加し単年度収支は赤字となった。保険税滞納は減少しつつある。介護保険は単年度収支で黒字となったが、給付費増に伴い準備基金を全額取り崩すとともに県の財政安定化基金から借入して補った結果である。平成27年度から介護保険料がアッ

ブしたが更なる増額を抑制するための検討が必要である。公共下水道は雨水対策整備などで歳出が大幅増となった。一方、集落排水は新たな処理施設整備が不要となり大幅減となった。宅地分譲は3区画の売却実績があった。民間販売委託の成果が表れている。引き続き残余の販売に努められたい。

■企業会計決算概要

水道事業は前年度発生した大規模漏水もなく年間有収率が向上し営業収益も増加した。今後人口減少による減収に加え原材料費高騰等の経営圧迫要因があるが

コスト低減や施設・設備の延命等で経営基盤強化に努められたい。

■基金と地方債の現況

基金残高は66億3,614万5千円である。庁舎建設基金などが増加した。これまで国債運用してきた基金について運用環境面から満期に伴い決済用普通預金に移した。現況では妥当だが効率の高い運用法も検討され

たい。地方債残高は85億7,217万6千円である。償還額は平成23年度をピークに年々減少しているが今後大型公共事業に伴う新規起債も予定しており計画的な財政運営に努められたい。

■財政の健全化

自主財源比率を示す財政力指数が3ヵ年平均で0.960となった。他団体と比較すると高い数値であるが年度推移では低下傾向である。一般財源に対する経常的経費の割合が高い。人件費や扶助費、公共施設の維持管

理費などで効率化の検討が必要。財政健全化指標は全て問題のない数値を示している。今後は新規事業財源の起債も必要であり実質公債費比率の推移に注意されたい。

■むすび

高浜町では新規大型事業が続く。これらの事業を確実に実施できる財源確保と執行体制の確立に努められたい。高浜町は今後人口減少と急激な高齢化を経験する。併せて町の基幹産業である原子力発電の確実な先

行きが見通せず、町財政、雇用、経済面で不透明な状況にある。今後とも高浜町民が安心して暮らせる社会を実現するためこうした課題に対し真に必要な施策を見定めて効果的な行財政運営を行っていただきたい。

議員と 語ろう会 を開催します!!

批判や意見、
提言など
自由なご意見を
お聞かせください。

11月4日(水)午後7時30分～

2会場
同時開催

- 高浜地区(瑞祥苑)
横田議長、井上議員、磯部議員、渡邊議員
- 内浦地区(内浦公民館)
上尾副議長、釣本議員、井ノ元議員、山本議員

11月5日(木)午後7時30分～

2会場
同時開催

- 和田地区(保健福祉センター)
横田議長、西野議員、廣瀬議員、粟野議員
- 青郷地区(青郷公民館)
上尾副議長、児玉議員、大塚議員、小幡議員

※どの会場でも自由にご参加ください。



編集後記

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。朝夕は、めっきり冷え込んできておりますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

9月定例会では、予算案件、決算認定などを含む39議案が慎重審議されました。(P4参照)また、14議席中議長を除く12名の新人・ベテラン議員から個性溢れる一般質問が行われました。常任委員会・特別委員会においても、本誌では詳細まで紹介しきれないほどの質疑・討論が飛び交い、非常に活発な議会でありました。

読者の皆様の手に取りたくなるように、一番目立つ表紙には季節感が伝わる写真を高浜町で撮影し、掲載するようにしています。編集作業の楽しみの一つです。高浜町の「旬」を皆様にお伝えできるように、また町民に見える議会として「分かりやすい」広報を目指していきたいと思っております。今後ともご愛読下さいますようお願い申し上げます。

文責/児玉 千明

広報特別委員会

委員長	栗野 明雄
副委員長	井上 順也
委員	小幡 憲仁
	釣本 音次
	西野 朋宏
	児玉 千明